

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4441428号
(P4441428)

(45) 発行日 平成22年3月31日(2010.3.31)

(24) 登録日 平成22年1月15日(2010.1.15)

(51) Int.Cl.

F 1

A 4 7 K 3/28 (2006.01)

A 4 7 K 3/22

A 4 7 K 3/12 (2006.01)

A 4 7 K 3/12

請求項の数 3 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2005-85481 (P2005-85481)
 (22) 出願日 平成17年3月24日(2005.3.24)
 (65) 公開番号 特開2006-263150 (P2006-263150A)
 (43) 公開日 平成18年10月5日(2006.10.5)
 審査請求日 平成19年9月21日(2007.9.21)

(73) 特許権者 505154956
 パナソニック電工バス&ライフ株式会社
 茨城県水戸市元吉田町1274番地1
 (74) 代理人 100087767
 弁理士 西川 恵清
 (74) 代理人 100085604
 弁理士 森 厚夫
 (72) 発明者 野木 久義
 大阪府門真市大字門真1006番地 松下
 電器産業株式会社内

審査官 七字 ひろみ

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シャワー装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者の後方より噴霧するノズルを有するノズルユニットと、使用者の身体を包み込むように噴霧する複数のノズルを配設したノズルアームと、着座手段と洗面台を兼ねた台座部と、洗い場吐水口と、ノズルと洗い場吐水口に供給する湯水を制御する制御手段を備え、ノズルユニットは所定幅の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームはノズルユニットの上部に略上下方向に回動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、前記着座手段と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が前後に水平移動し所定の位置で固定するものであるシャワー装置。

【請求項2】

使用者の後方より噴霧するノズルを有するノズルユニットと、使用者の身体を包み込むように噴霧する複数のノズルを配設したノズルアームと、着座手段と洗面台を兼ねた台座部と、洗い場吐水口と、ノズルと洗い場吐水口に供給する湯水を制御する制御手段を備え、ノズルユニットは所定幅の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームはノズルユニットの上部に略上下方向に回動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、前記着座手段と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が上下移動し所定の高さで固定するものであるシャワー装置。

【請求項3】

10

20

使用者の後方より噴霧するノズルを有するノズルユニットと、使用者の身体を包み込むように噴霧する複数のノズルを配設したノズルアームと、着座手段と洗面台を兼ねた台座部と、洗い場吐水口と、ノズルと洗い場吐水口に供給する湯水を制御する制御手段を備え、ノズルユニットは所定幅の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームはノズルユニットの上部に略上下方向に回動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、前記着座手段と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が前後上下に移動し、上部手前及び、下部後方に固定するものであるシャワー装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は着座姿勢で使用するシャワー装置に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、この種のシャワー装置は、正面中央に鏡を設置した収納ユニットの両側部に、複数のノズルを備えたアームを垂直な回転軸を介して横方向に回転するように設置し、収納ユニットの下方に水栓を備えたカウンターを設置するとともに、水栓の下方には洗面器を載置する可倒式の洗面器台を設置した構成において、着座してシャワー浴を行うときは洗面器台を倒した状態で、収納ユニットの前に置いた椅子に着座してシャワーを浴びるものである。また、洗顔等の洗面器を使用する入浴作業を行うときは、洗面台を起こしその上に洗面器を載置して入浴作業を行っている（例えば、特許文献1参照）。

20

【0003】

図7は、特許文献1に記載された従来のシャワー装置を示すものである。

【0004】

図に示すように、収納ユニット1の一側方には収納棚2設置してあり、他方には通常シャワー3が設置してある。収納ユニット1の左右には複数のノズル4を備えたアーム5が水平方向に回動自在に設置してある。また収納ユニット1の中央部には鏡6が設置してあり、その下方には水栓7を備えたカウンター8が設置してあり、カウンター8の下方には可倒式の洗面器台9を設置した構成となっている。

【特許文献1】特開2001-204644号公報

30

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、前記従来の構成では、着座してシャワー浴を行う場合には専用の椅子が必要であり、また洗顔等の一般の入浴作業を行うときは、可倒式の洗面器台を起こし、別の椅子が必要なので余分な浴室スペースや椅子の収納スペースが必要である。

【0006】

本発明は、前記従来の課題を解決するもので、着座姿勢で使用するシャワー装置と身体
の洗浄に使用する水栓や鏡を一体に構成し、着座に必要な奥行広さと洗面器を置いて洗顔
するのに最適な奥行をひとつの台座部で提供し、浴室内の省スペースと使い勝手の向上を
図るシャワー装置を提供することを目的とする。

40

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記従来の課題を解決するために、本発明のシャワー装置は、ノズルユニットを所定幅
の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームをノズルユニットの上部に略上下方向に回
動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、洗い場吐水口の下方
に所定の空間を確保した位置に着座手段と洗面台を兼ねた台座部を設置し、前記着座手段
と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定
部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が前後上下に移動し、上部手前及
び、下部後方に固定する構成とした。

50

【 0 0 0 8 】

これによって、台座部に着座してノズルユニットとノズルアームのノズルから噴霧する湯水を浴びる時には、台座部の可動部を手前に移動させて、着座面を広くしてゆったりと着座でき、またシャワーを使用しないときは、台座部の可動部を後方に移動させて洗顔・身体の洗浄の際に、最適な洗い場吐水口からの距離を得ることができ、同一場所でシャワー浴と一般の入浴の洗浄作業を最適な姿勢で行うことができるため、浴室内に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上することができる。また、台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成してあるので、ノズルアームの下方位置に位置する固定部に制御手段を設置することが可能となる。

10

【 発明の効果 】

【 0 0 0 9 】

本発明のシャワー装置は、同一場所でシャワー浴と一般の入浴の洗浄作業をそれぞれ最適な姿勢で行うことができるため、浴室内に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上することができる。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 0 】

第1の発明は使用者の後方より噴霧するノズルを有するノズルユニットと、使用者の身体を包み込むように噴霧する複数のノズルを配設したノズルアームと、着座手段と洗面台を兼ねた台座部と、洗い場吐水口と、ノズルと洗い場吐水口に供給する湯水を制御する制御手段を備え、ノズルユニットは所定幅の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームはノズルユニットの上部に略上下方向に回動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、着座手段と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が前後に水平移動し所定の位置で固定する構成とすることにより、ノズルアームを上方に回動し所定位置に保持した状態で、使用者は台座部に着座して、ノズルユニットのノズルとノズルアームのノズルから噴霧する湯水を浴びる時に台座部の可動部を手前に移動させて、着座面を広くしてゆったりと着座でき、またシャワーを使用しないときは、台座部の可動部を後方に移動させて洗顔や身体の洗浄の際に、最適な洗い場吐水口からの距離を得ることができ、同一場所でシャワー浴と一般の入浴の洗浄作業を最適な姿勢で行うことができるため、浴室内に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上することができる。また、台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成してあるので、ノズルアームの下方位置に位置する固定部に制御手段を設置することが可能となる。

20

30

【 0 0 1 1 】

第2の発明は使用者の後方より噴霧するノズルを有するノズルユニットと、使用者の身体を包み込むように噴霧する複数のノズルを配設したノズルアームと、着座手段と洗面台を兼ねた台座部と、洗い場吐水口と、ノズルと洗い場吐水口に供給する湯水を制御する制御手段を備え、ノズルユニットは所定幅の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームはノズルユニットの上部に略上下方向に回動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、着座手段と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が上下移動し所定の高さで固定する構成とすることにより、ノズルアームを上方に回動し所定位置に保持した状態で、使用者は台座部に着座して、ノズルユニットのノズルとノズルアームのノズルから噴霧する湯水を浴びる時に台座部の可動部を上方に上げて、着座面を最適な高さにして着座でき、またシャワーを使用しないときは、台座部の可動部を下方に下げて洗面台として最適な台座部の高さを得ることができ、同一場所でシャワー浴と一般の入浴の洗浄作業を最適な姿勢で行うことができるため、浴室内に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上することができる。また、台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部

40

50

とで構成してあるので、ノズルアームの下方位置に位置する固定部に制御手段を設置することが可能となる。

【 0 0 1 2 】

第3の発明は使用者の後方より噴霧するノズルを有するノズルユニットと、使用者の身体を包み込むように噴霧する複数のノズルを配設したノズルアームと、着座手段と洗面台を兼ねた台座部と、洗い場吐水口と、ノズルと洗い場吐水口に供給する湯水を制御する制御手段を備え、ノズルユニットは所定幅の開放面を介して左右に設置し、ノズルアームはノズルユニットの上部に略上下方向に回動および保持自在に設置し、開放面の下部に洗い場吐水口を設置し、着座手段と洗面台を兼ねた台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成され、該可動部が前後上下に移動し、上部手前及び、下部後方に固定する構成とすることにより、ノズルアームを上方に回動し所定位置に保持した状態で、使用者は台座部に着座して、ノズルユニットのノズルとノズルアームのノズルから噴霧する湯水を浴びる時に台座部の可動部を上部手前に移動させて、着座面を最適な奥行・高さにして着座でき、またシャワーを使用しないときは、台座部の可動部を下部後方に移動させて洗面台として最適な奥行・高さの台座部を得ることができ、同一場所でシャワー浴と一般の入浴の洗浄作業を最適な姿勢で行うことができるため、浴室に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上することができる。また、台座部が、両ノズルアームの下方位置に位置する固定部と、左右の固定部間の凹所に配置された可動部とで構成してあるので、ノズルアームの下方位置に位置する固定部に制御手段を設置することが可能となる。

10

20

【 0 0 1 3 】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。なお、この実施の形態によって本発明が限定されるものではない。

【 0 0 1 4 】

(実施の形態1)

図1は本発明の第1の実施の形態におけるシャワー装置を設置した状態の斜視図を示すものであり、図2はシャワー装置の側断面図を示すものである。

【 0 0 1 5 】

図1に示すように、本発明のシャワー装置は浴室の洗い場10及び、前記洗い場10に対応する壁面11に設置してある。浴室の壁面11に固定した本発明のシャワー装置は、両側部には樹脂材料を略直形状に成型したノズルユニット13が配置してあり、左右のノズルユニット12の前面上部には、使用者の主に肩に向かって衝撃的な水流を噴出するマッサージノズル13がそれぞれ設置してあり、前部下部には使用者の主に腰部に向かって微細水流を噴出するシャワーノズル14がそれぞれ設置してある。

30

【 0 0 1 6 】

左右のノズルユニット12の外側部には、上端部を支点として略上下方向に回動自在で、かつ任意の角度で保持が可能ないように略直方体形状のノズルアーム15がそれぞれ設置してある。左右のノズルアーム15は連結バー(図示せず)で連結することにより、一方のノズルアーム15を回動すれば他方も同様に回動する構成となっている。

【 0 0 1 7 】

ノズルアーム15の裏面には微細水流を使用者の身体を包み込むように噴出する複数のシャワーノズル14と、ミスト状の水流を使用者の身体全体を包み込むように噴出するミストノズル16がノズルアーム15のほぼ全長にわたり所定の間隔で交互に配設してある。

40

【 0 0 1 8 】

マッサージノズル13とシャワーノズル14とミストノズル16は種類毎にノズルユニット12とノズルアーム15の内部に配設した配管(図示せず)により互いに連通する構成となっている。また、マッサージノズル13とシャワーノズル14とミストノズル16は個々に水流の噴出方向を変更できる調整機能を備えている。

【 0 0 1 9 】

50

左右のノズルユニット１３の間に位置する開放面１７の下部には下方に向かって開放した洗い場吐水口１８が設置してある。

【００２０】

開放面１７の前面には左右のノズルユニット１２の上下端部に枢支し、左右に開閉自在な背もたれカバー１９が設置してある。

【００２１】

開放面１７の下方にはノズルユニット１２の下端とほぼ等しい高さに着座手段と洗面台を兼ねた台座部２０が設置してあり、前記台座部２０は固定部２１と前後に水平移動し所定の位置に固定してなる可動部２２とで構成されている。通常の入浴作業の際に可動部２２を後方に移動させて、前記可動部２２の上に洗面器等を載置する時、前記洗い場吐水口と使用者身体を最適な距離にして使用できる。

10

【００２２】

前記台座部２０に着座してノズルユニット１２とノズルアーム１５から噴霧湯水を浴びる際には、台座部２０を手前に水平移動させて、着座部の奥行寸法を広げて、ゆったりと着座して使用できる。

【００２３】

以上のように構成されたシャワー装置について、以下その動作、作用を説明する。

【００２４】

まず、図１、図２に示すようにノズルアーム１５を回動して使用者の体格にあわせた位置に保持し、使用者が台座部２０に着座する。この時、台座部２０の可動部２２を前方に水平移動させて固定することにより、着座面の奥行寸法を広げ使用者はゆったりと着座し、噴霧水流を浴びることができる。

20

【００２５】

また、図１、図２に示すように、ノズルアーム１５を収納し背もたれカバー１９を開放した状態では、台座部２０は洗面器や入浴用品を載置するカウンターとして使用することができる。この状態では、台座部２０の可動部２２を後方に水平移動させて固定することにより、吐水口１８と使用者の距離を縮め、最適な位置から通常的身體洗浄作業を行うことができる。

【００２６】

以上のように、本実施の形態においてはノズルアームを上方に回動し所定位置に保持し、台座部を手前に水平移動して引き出すことにより、ゆったりと着座して、ノズルユニットのノズルとノズルアームのノズルとハンドシャワーから噴出する湯水により、４種類のシャワー浴を行うことができる。また、ノズルアームを収納した状態では、台座部を奥に水平移動させて、カウンターとして最適な奥行寸法にすることにより、吐水口と使用者の身体とを最適な距離関係にし、身体の洗浄作業等を楽に行うことができる。

30

【００２７】

このように同一場所でシャワー浴と通常の入浴作業を行うことができるので、浴室に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上することができる。

【００２８】

40

（実施の形態２）

図３は本発明の第２の実施の形態におけるシャワー装置の斜視図を示すものであり、図４は第２の実施の形態の側断面図である。本実施の形態が第１の実施の形態と異なるところは、図３、図４に示すように台座部２０を固定部２１と上下移動して所定の高さで固定してなる可動部２３を設けた構成である。

【００２９】

なお、実施の形態１と同一符号のものは同一構造を有し説明は省略する。

【００３０】

上記構成とすることにより、台座部２０に着座してノズルユニット１２とノズルアーム１５から噴霧湯水を浴びる際には台座部２０の可動部２３を上方に持ち上げて固定するこ

50

とにより、最適な着座姿勢を採る事ができる。

【 0 0 3 1 】

また、通常の入浴作業の際には、台座部 2 0 の可動部 2 3 を下方に下げて固定することにより、台座部 2 0 が洗面器を使用したすすぎ洗いや洗顔等に最適な高さとなり、楽な姿勢で行う事ができる。

【 0 0 3 2 】

上記のように、本実施の形態のシャワー装置はシャワー浴と通常入浴の両方の場合の使い勝手の効果を備えた物である。

【 0 0 3 3 】

(実施の形態 3)

図 5 は本発明の第 3 の実施の形態におけるシャワー装置の斜視図を示すものであり、図 6 は第 3 の実施の形態の側断面図である。本実施の形態が第 1 の実施の形態と異なるところは、図 5、図 6 に示すように台座部 2 0 を固定部 2 1 と前後上下に移動して上部手前及び、下部後方ら固定してなる可動部 2 4 を設けた構成である。

【 0 0 3 4 】

なお、実施の形態 1 と同一符号のものは同一構造を有し説明は省略する。

【 0 0 3 5 】

上記構成とすることにより、台座部 2 0 に着座してノズルユニット 1 2 とノズルアーム 1 5 から噴霧湯水を浴びる際には台座部 2 0 の可動部 2 4 を上方手前に引上げて固定することにより、着座するのに最適な高さとしゆったりとした奥行広さのある着座面を得る事ができ、楽な着座姿勢をとる事ができる。

【 0 0 3 6 】

また、通常の入浴作業の際には、台座部 2 0 の可動部 2 4 を下方奥に押し下げて固定することにより、台座部 2 0 が洗面器でのすすぎ洗いや洗顔等に最適な高さとなり、楽な姿勢で行う事ができる。

【 0 0 3 7 】

上記のように、本実施の形態のシャワー装置はシャワー浴と通常入浴の両方の場合の使い勝手の効果を備えた物である。

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 3 8 】

以上のように、本発明にかかるシャワー装置は、同一場所でシャワー浴と一般の入浴の洗浄作業を行うことができるため、浴室に余分なスペースを確保する必要がなく浴室の省スペースと使い勝手を向上するが可能となるので、介護装置などの用途にも適用できる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 3 9 】

【 図 1 】 本発明の実施の形態 1 におけるシャワー装置の斜視図

【 図 2 】 本発明の実施の形態 1 におけるシャワー装置の側断面図

【 図 3 】 本発明の実施の形態 2 におけるシャワー装置の斜視図

【 図 4 】 本発明の実施の形態 2 におけるシャワー装置の側断面図

【 図 5 】 本発明の実施の形態 3 におけるシャワー装置の斜視図

【 図 6 】 本発明の実施の形態 3 におけるシャワー装置の側断面図

【 図 7 】 従来シャワー装置の正面図

【 符号の説明 】

【 0 0 4 0 】

1 2 ノズルユニット

1 3 マッサージノズル (ノズル)

1 4 シャワーノズル (ノズル)

1 5 ノズルアーム

1 6 ミストノズル (ノズル)

10

20

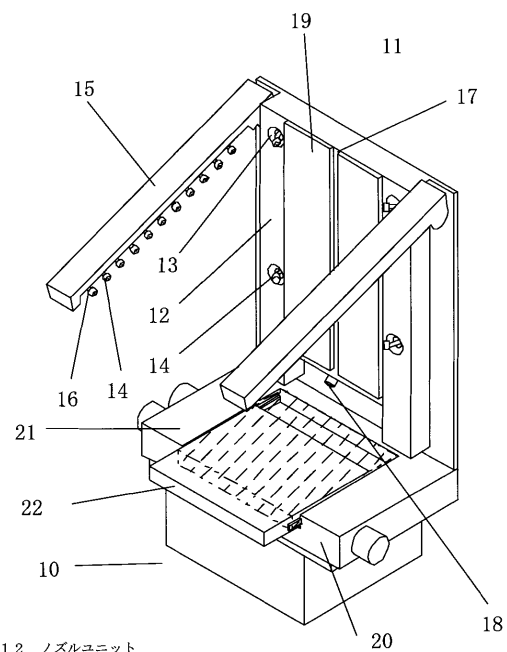
30

40

50

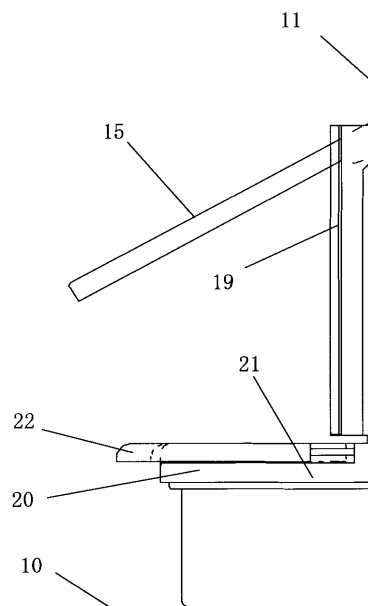
- 17 開放面
 18 洗い場吐水口
 20 台座部
 21 固定部
 22、23、24 可動部

【図 1】

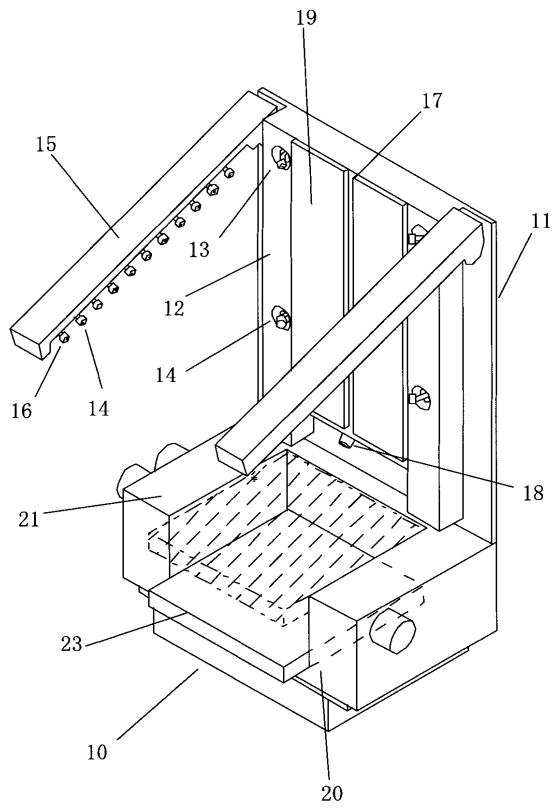


- 12 ノズルユニット
 13 マッサージノズル (ノズル)
 14 シャワーノズル (ノズル)
 15 ノズルアーム
 16 ミストノズル (ノズル)
 17 開放面
 18 洗い場吐水口
 20 台座部
 21 固定部
 22 可動部

【図 2】

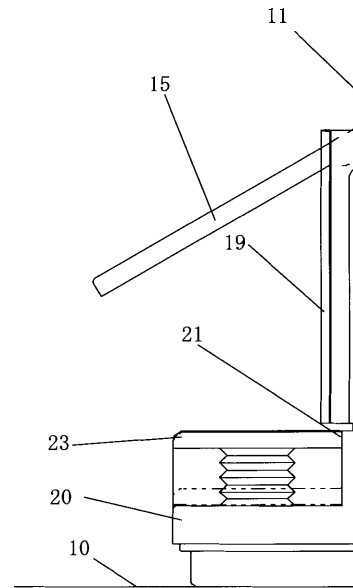


【図 3】

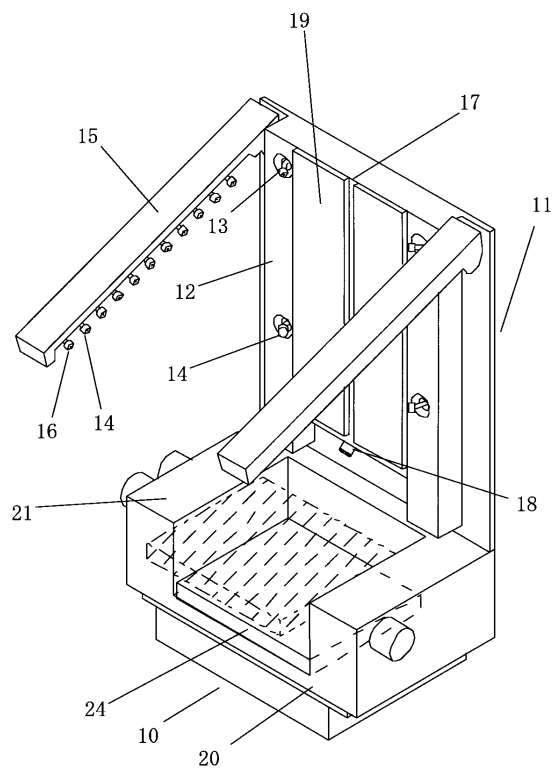


23 可動部

【図 4】

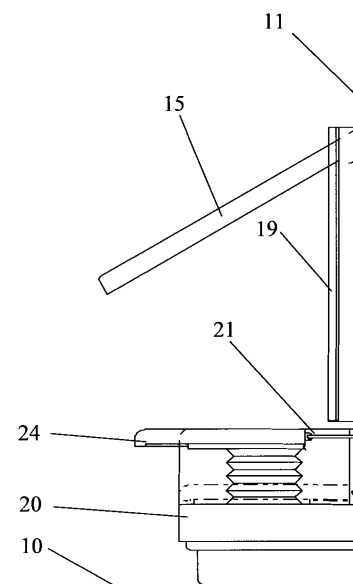


【図 5】

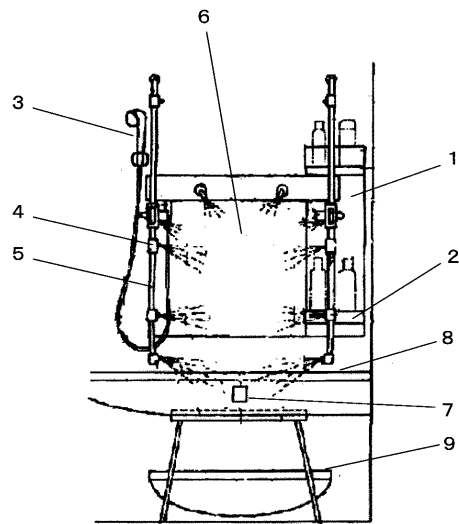


24 可動部

【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2002-112915(JP,A)
実開平03-029089(JP,U)
特開平10-225394(JP,A)
実開昭63-133141(JP,U)
特開2002-112912(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A47K 3/02-4/00